

### 9-3 西南日本における短期的スロースリップイベント (2020 年 5 月～2020 年 10 月) **Short-term slow slip events with non-volcanic tremor in southwest Japan (May 2020-October 2020)**

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2020 年 5 月から 2020 年 10 月にかけて西南日本の深部低周波微動<sup>1)</sup>に同期して発生した短期的スロースリップイベント<sup>2,3)</sup>(SSE)について報告する。第 1 図に今回報告する SSE をまとめた。これまでのイベントの履歴については、連絡会報<sup>1)</sup>を参照されたい。

#### (1) 2020 年 7～8 月 四国中西部

2020 年 7 月 26 日～8 月 2 日と 8 月 5 日～8 日に四国中西部の観測点で、深部低周波微動と同期した SSE による傾斜変化がとらえられた (第 2 図)。傾斜変化ベクトル、データから推定された SSE の矩形断層モデル、モデルから計算される傾斜変化ベクトルを第 3 図に示した。この SSE の規模は Mw 6.3 に推定された。SSE のすべり域は同期間に発生した微動および超低周波地震<sup>5)</sup>(VLFE)の震央位置とよく一致している。2019 年 8 月に四国西部で Mw 6.0 の短期的 SSE が発生している<sup>6)</sup>。

#### (2) 2020 年 10～11 月 紀伊半島北部

2020 年 10 月 31 日～11 月 4 日に紀伊半島北部の観測点で、深部低周波微動と同期した SSE による傾斜変化がとらえられた (第 4 図)。傾斜変化ベクトル、SSE の断層モデル、モデルから計算される傾斜変化ベクトルを第 5 図に示した。この SSE の規模は Mw 5.8 に推定された。SSE のすべり域は同期間に発生した微動および VLFE の震央位置とよく一致している。2019 年 11 月に紀伊半島北部で Mw 5.8 の短期的 SSE が発生している<sup>6)</sup>。

(木村 武志)

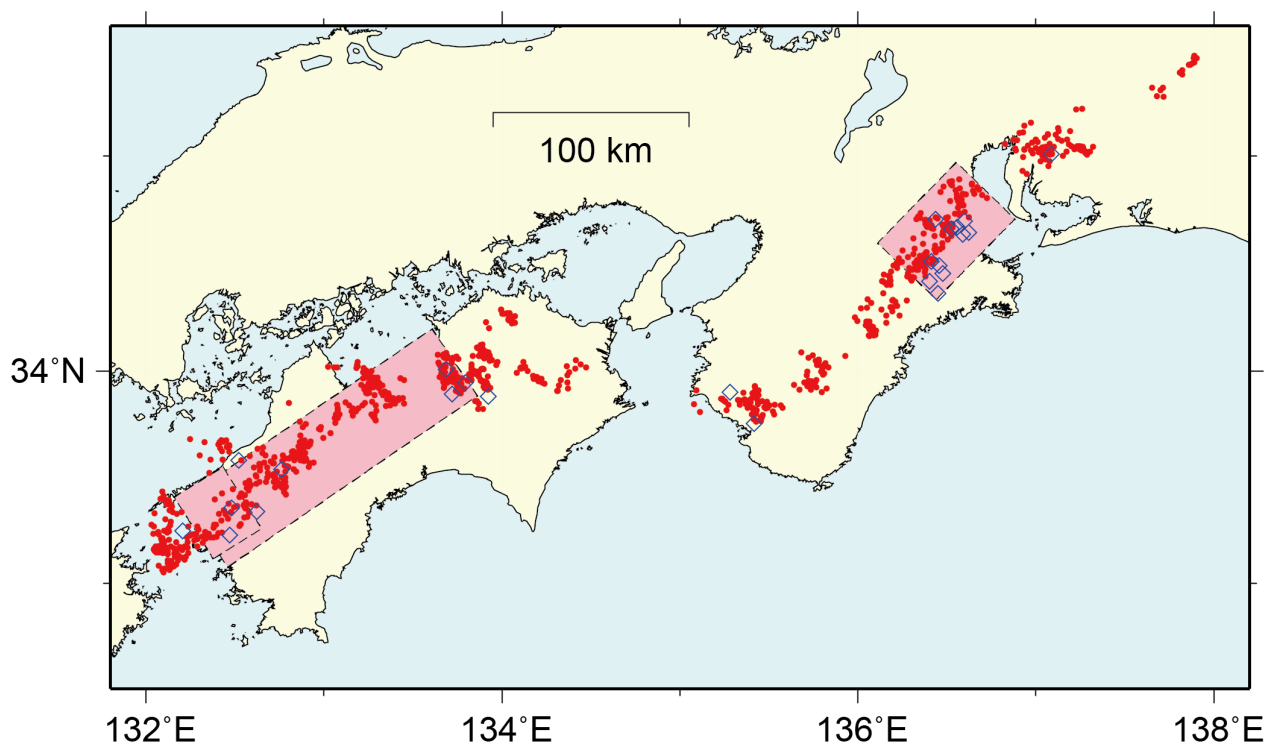
KIMURA Takeshi

#### 謝辞

気象庁のホームページで公開されている気象台等の気象観測データを使用させていただきました。記して感謝いたします。

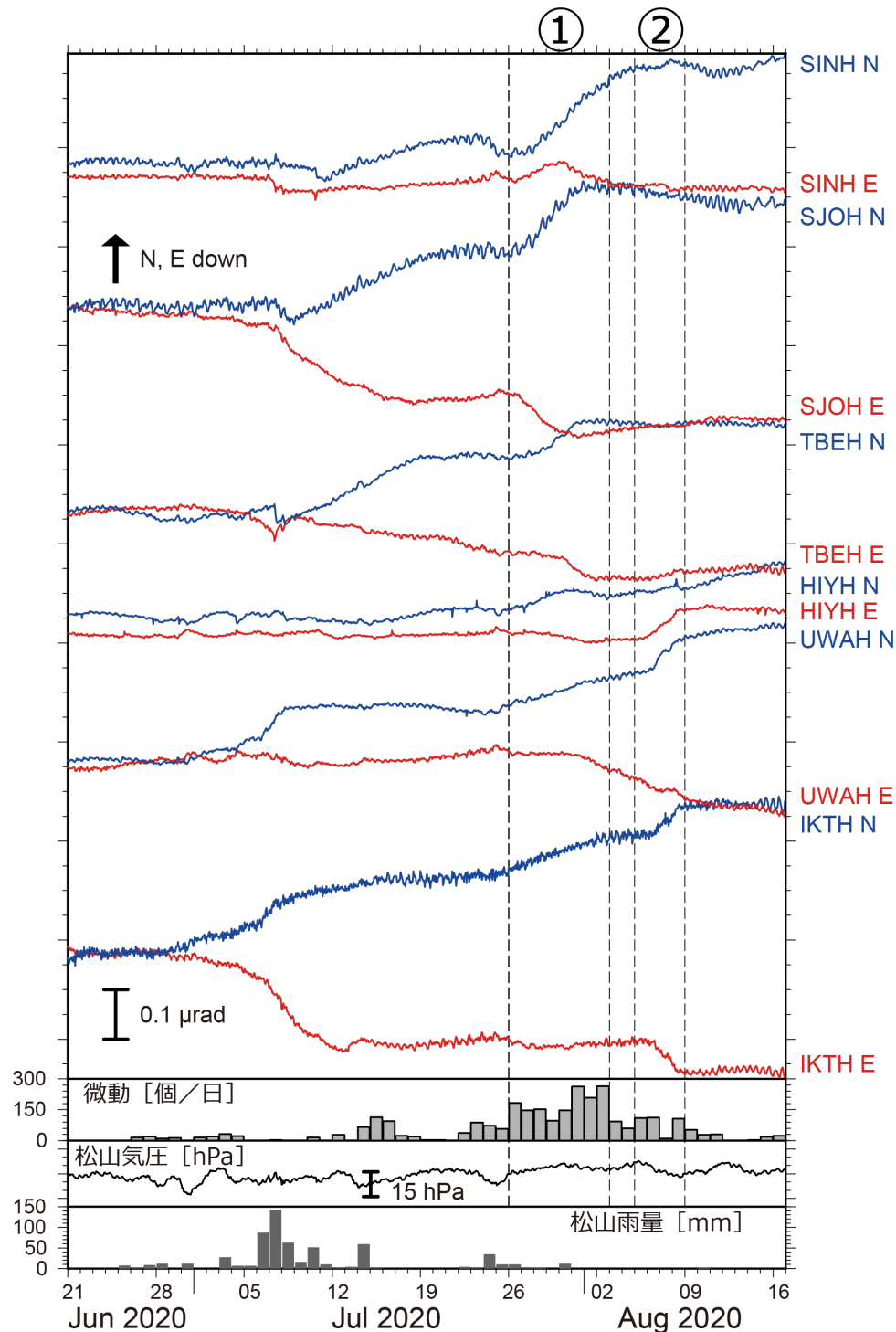
#### 参考文献

- 1) 防災科学技術研究所 (2021), 予知連会報, 本号.
- 2) Obara, et al. (2004), *Geophys. Res. Lett.*, **31** (23), doi:10.1029/2004GL020848.
- 3) Hirose and Obara (2005), *Earth Planets Space*, **57** (10), 961-972.
- 4) Tamura et al. (1991), *Geophys. J. Int.*, **104**, 507-516.
- 5) Ito et al. (2007), *Science*, **315**, 503-506.
- 6) 防災科学技術研究所 (2020), 予知連会報, **104**, 415-420.



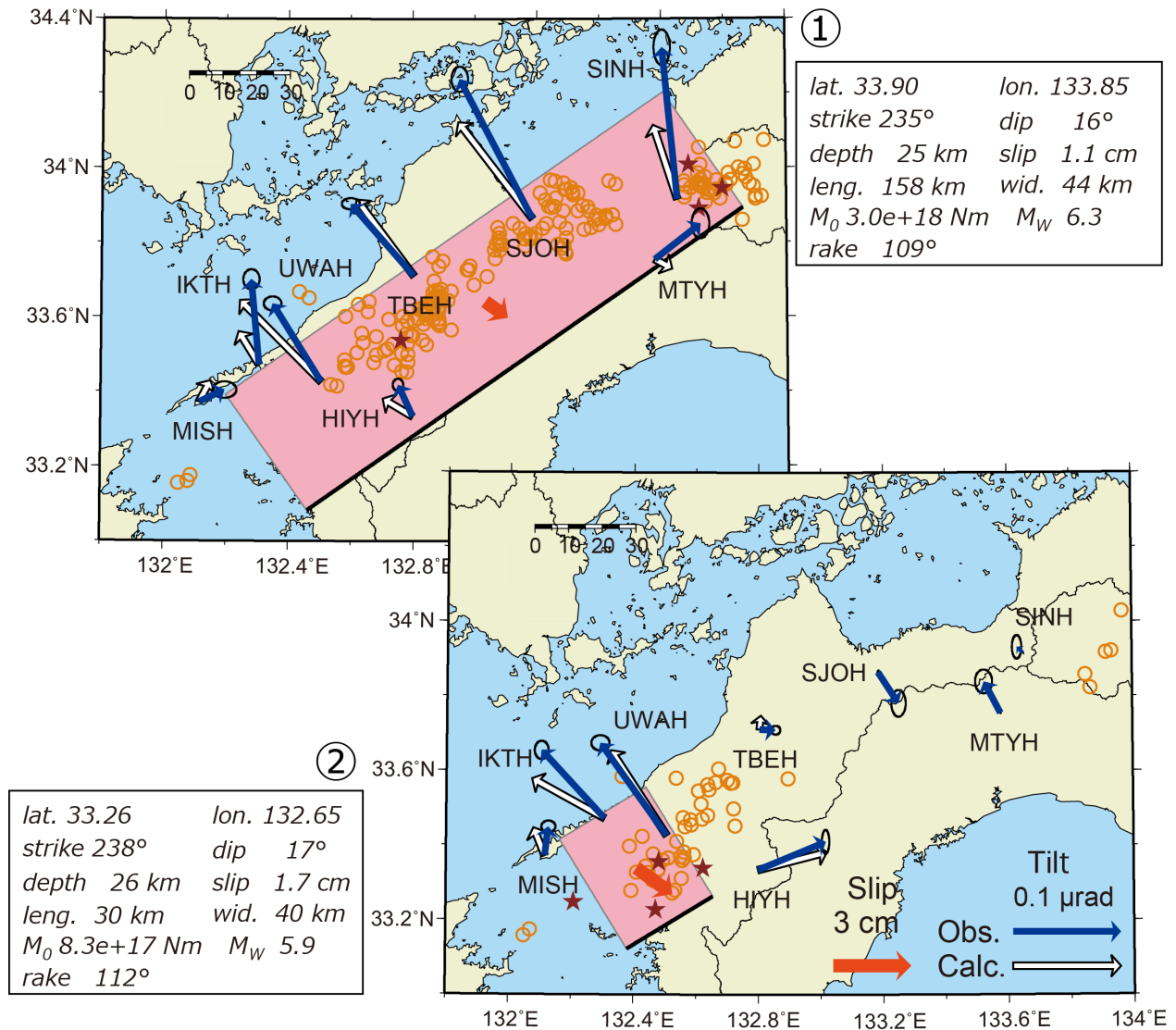
第 1 図 2020 年 5 月 1 日～2020 年 11 月 4 日の期間に検知された短期的 SSE (ピンク矩形). 同期間に発生した深部低周波微動 (赤点) 及び VLFE の震央 (青菱形) を重ねて表示した.

Fig. 1 Distribution of SSEs detected from May 1, 2020 to November 4, 2020. Red dots and blue diamonds show epicenters of tremors and VLFEs, respectively.



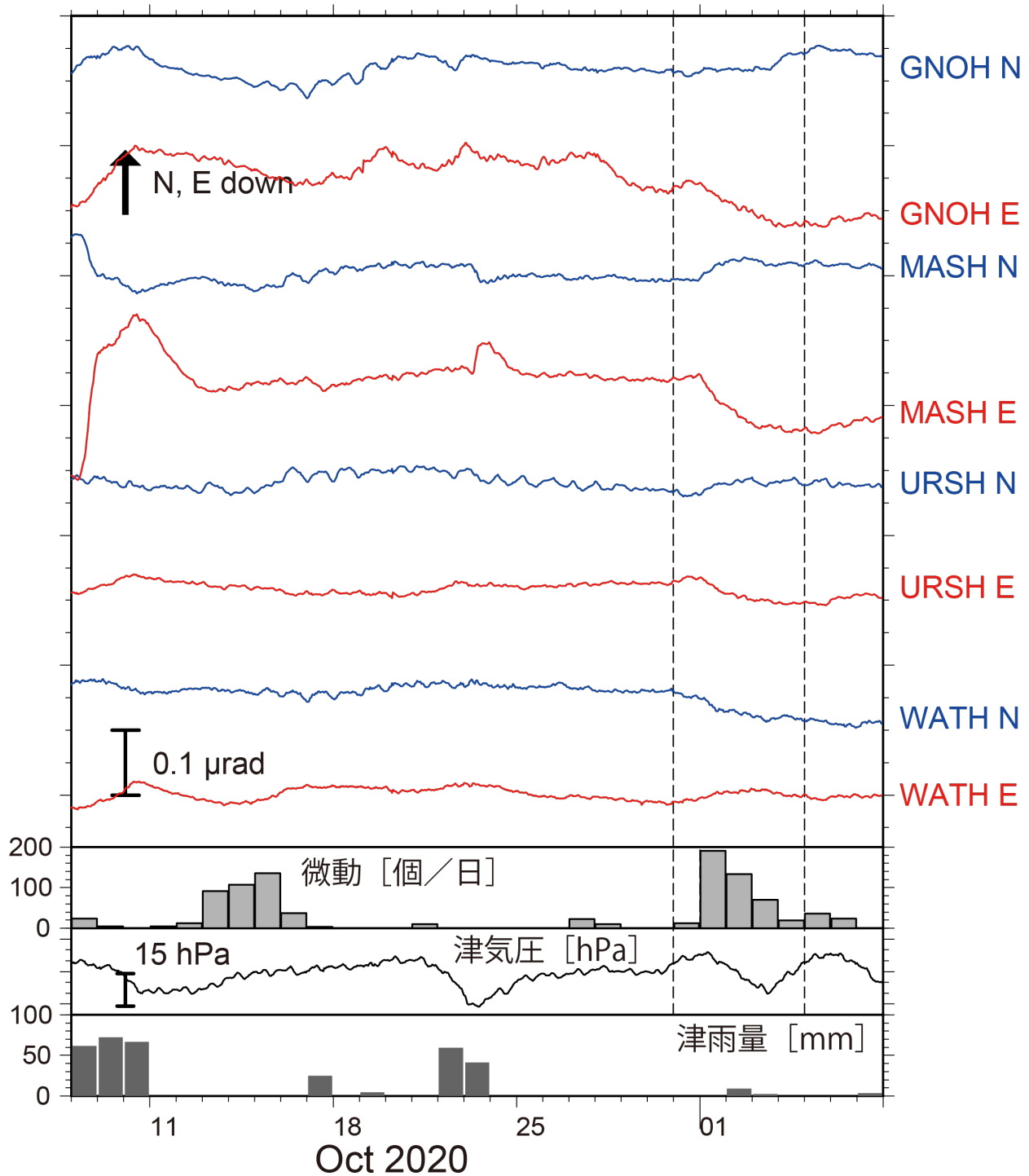
第 2 図 2020 年 6 月 21 日から 8 月 16 日までの傾斜時系列．観測点位置は第 3 図に示した．記録は上方向への変化が北・東下がりの傾斜変動を表す．気圧応答・潮汐成分を BAYTAP-G4) により除去し，直線トレンドを補正した後の記録を示した．期間①②の傾斜変化量を SSE によるものと仮定した．四国中西部での微動活動度・気象庁宇和島観測点での気圧変化および雨量をあわせて表示した．

Fig. 2 Time series of tiltmeter records, daily tremor counts, atmospheric pressure change and daily precipitation in the central and western Shikoku region from June 21, 2020 to August 16, 2020. 'N' and 'E' that follow a four-character station code denote the northward and eastward ground down tilt components, respectively. The tilt changes for the time windows indicated by the broken lines are assumed to be caused by an SSE. The atmospheric pressure and precipitation were observed at the JMA Uwajima meteorological observatory. The displayed tilt records are detided and their atmospheric pressure responses are corrected with BAYTAP-G4).



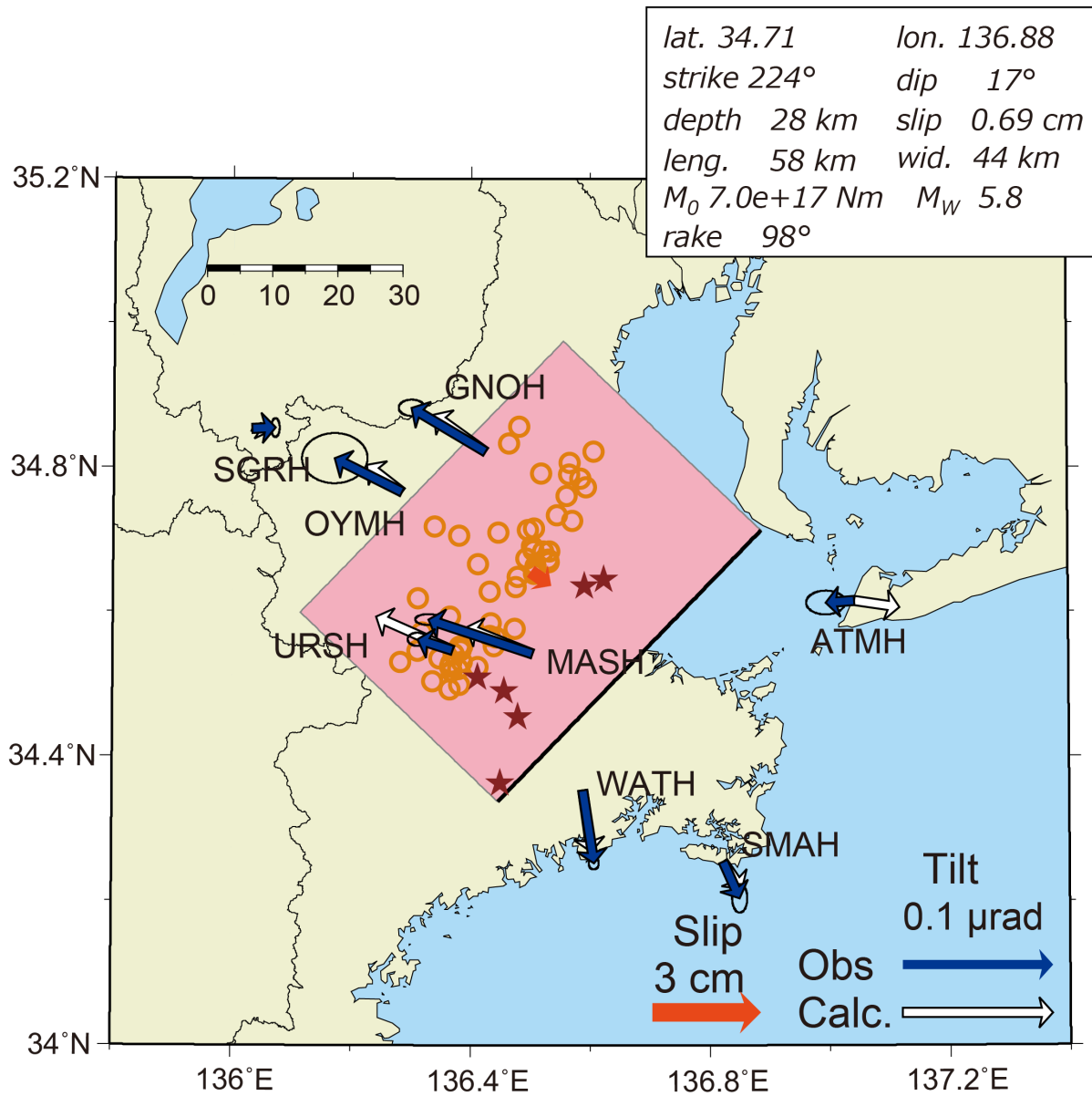
第 3 図 2020 年 10 ～ 11 月四国中西部の短期的 SSE の断層モデル。第 2 図の破線で示された期間に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）・このデータから推定された SSE の断層モデル（赤矩形・矢印）・モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。同じ期間の微動と深部超低周波地震の震央を橙円と茶星印で示した。

Fig. 3 Observed tilt change vectors for the time windows indicated Fig. 2 (blue arrows), the estimated fault slip (red arrow), rectangular fault location and geometry (pink rectangle) based on the tilt change vectors, and the calculated tilt changes due to the fault models (open arrows). Orange circles and stars show epicenters of the tremor activity and VLFs, respectively, occurred in the time periods.



第 4 図 2020 年 10 月 8 日～11 月 7 日までの傾斜時系列. 図の見方は第 2 図と同様. 観測点位置は第 5 図に示した. 10 月 31 日～11 月 4 日の傾斜変化量を SSE によるものと仮定した. 紀伊半島北部における微動活動度・気象庁津観測点での気圧変化および雨量をあわせて表示した.

Fig. 4 Same as Fig. 2 but for the records observed in the northern Kii peninsula from October 31, 2020 to November 4, 2020. The tilt changes for the time window indicated by the broken lines are assumed to be caused by an SSE. The atmospheric pressure and the precipitation were observed at the JMA Tsu meteorological observatory. The station locations and the tilt changes during the time windows indicated by broken lines are shown in Fig. 5.



第 5 図 2020 年 10 ～ 11 月紀伊半島北部の SSE の断層モデル。図の見方は第 3 図と同じ。

Fig. 5 Same as Fig. 3 but for the October-November 2020 short-term SSE in the northern Kii peninsula.